



ケアマネ みやざき



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.21
平成30年7月1日発行
発行責任者
担当理事 坂口和幸

「会長挨拶」

皆さま、こんにちは。会員の皆さま方には日頃から御支援と御協力を賜わりまして、改めまして深く感謝申し上げます。

今年度は宮崎県介護支援専門員協会創立10年の節目に当たります。

平成20年6月に介護支援専門員が自ら運営する本協会が設立されました。振り返りますと、その2年後の平成22年4月12日には一般社団法人化いたしました。しかしながら介護支援専門員が同じ目線の先にある「利用者の幸せな暮らし」を見据えながら、ひとりの介護支援専門員の生活・ひとつの事業所の安定した事業を保障できるような待遇や環境改善を勝ち取るためには、利用者に最も近い立場にいる地域の介護支援専門員団体、さらに都道府県支部としての本協会、日本介護支援専門員協会の3つの組織による3層構造の構築が必要と考え、平成26年4月県内のすべての介護支援専門員が本協会の会員として加入され、宮崎県支部から日本介護支援専門員協会を通じて、国を動かすための大切な基盤づくりが重要であるとの視点に立ち、遂に本協会の3層構造が実現したのであります。3層構造の構築により、改めてひとり一人の介護支援専門員が国を動かす重鎮であり、皆さまおひとりお一人が社会保障制度の中心となられたわけであり、



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷義秀

本協会創立時の会員は平成21年度末、わずかに700名でしたが、平成30年3月31日現在の本協会会員は1571名であり、日本介護支援専門員協会における都道府県別会員数としては、全国6番目、会員数をこれまでの合格者数で割った組織率でみると、全国で断トツのトップということになりました。

組織というものは規約を作って、それを遵守し、また自らそのメンバーを教育し合い、自主的に運営されていくものです。まさに自ら選んだ職業的責任を果たすために、政府や行政機関等の外部による規制、いわゆる他律を受けずに、自ら実効性のある自己規律のシステムを構築するという「プロフェッショナルオートノミー」が重要であります。介護支援専門員は介護保険制度内の医療介護連携の要としての『かかりつけケアマネ』たる、四輪自動車のハンドルキーパーの役割を超えて、「プロフェッショナルオートノミー」の重要性を再確認し、ケアマネジメントの枠を超えたソーシャルワーク能力を中心とした自らの資質を高めることで、「全世代型ケアマネジメント」「複合型ケアマネジメント」を率先できる職種として、国民はもとより他職種や関係機関からゆるぎない評価を勝ち得ていかなければなりません。

3層構造を構築でき4年が経過し、本協会は組織率を上げ、全国の中でも他に類を見ない、さまざまな特徴ある事業を展開できています。今後は双方向性の連絡体制を強化することこそ、ケアマネの存在価値と社会的地位を高めることの大前提になると思います。介護保険を取り巻く議論に対して様々な提言、提案をしていくためには「意見」と「データとしての根拠」が重要となってきます。当協会では「意見収集」のための「データ収集」を行うシステムの構築を進めたいと考えています。情報提供のための配信のみでなく、時に緊急的に、時にご意見をじっくり伺う意向調査等を行うことができるように管理システムを構築したいと考えています。このことにより、常に数的な速報値を確保でき、国の審議会や委員会でのData戦略を促進するとともに、その発言や現状報告の信頼性を向上させることができます。これらは会員の皆さんの意向を把握し事業に反映させながら実行につなげられることとなります。また報酬や基準、制度に関する議論に参加し自分の意見や活動が、実際に協会活動に反映され、見える形として表れることを実感できるようになります。

本協会はこれまでも、そして今後長きにわたり運用できる組織作りを構築してまいります。今後ともよろしくようお願い申し上げます。最後に告知でございますが、2022年には全国大会を本県で開催予定でございます。併せての御支援、よろしくお願い申し上げます。
(平成30年度 総会あいさつより抜粋)

祝 宮崎県介護支援専門員協会創立10周年記念式典

平成30年5月20日に、平成30年度総会及び宮崎県介護支援専門員協会創立10周年記念行事がシーガイアコンベンションセンターを会場とし、日本介護支援専門員協会の柴口会長をはじめとし、多くの来賓の皆様のご参加をいただき盛大に開催されました。

記念講演として、落語家の桂歌春師匠に「心のビタミン・笑いの力」と題しご講演いただいた後、落語も一席ご披露いただき、会場は終始笑いに包まれました。祝賀会の様子もふまふまえて、写真を掲載いたします。



記念式典会場風景



お祝いで頂いたお花



県内外から25名の御来賓の皆様にお越しいただきました



厚生労働省施設管理室
遠藤室長による来賓あいさつ



桂歌春師匠による笑いの記念講演



日本介護支援専門員協会
柴口会長からの祝辞



前厚生労働省介護支援専門官
石山様からの祝辞



宮崎県長寿介護課
内野課長からの祝辞

新役員紹介

平成30年度総会での承認を得て、これからから2年間の各役員が決定いたしましたので、紹介をいたします。



副会長
大峯 伸一

引き続き副会長を務めさせていただきます。地域から頼りにされる組織作りに全力を挙げて取り組みたいと思います。よろしくお願い致します。



副会長
長友 あかね

医療の立場から医療と介護の連携強化、当協会事業の更なる充実と拡大が図れるよう力を尽くしたいと思います。よろしくお願い致します。



石開修吾
大浦 栄子

委員の皆さまと更なる資質向上を目指し、次代の指導者養成を行い、盤石な協会の人材育成に繋がるよう精進して参ります。よろしくお願い致します。



資質向上事業部
川崎 智志

法定研修を中心としたケアマネジメントの実践に関わる研修会の開催など介護支援専門員にとって資質向上を図ることができる機会の充実に取り組みます。



情報政策部
坂口 和幸

魅力ある広報を行い、会員の増員と、会員の皆様へ有益な情報をいち早く提供していきます。よろしくお願い致します。



介護保険部
児浪 俊之

会員の皆様がりがいを持って専門性の高みを目指すことができる環境基盤を整えられるよう取り組む所存です。多くの皆様のご支援をお願い致します。



総合支援部
今吉 美和子

利用者の生活を支える為に介護支援専門員の相談対応と多職種連携支援を行い、介護支援専門員のケアマネジメント力の向上を目指します。



延岡・西臼杵ブロック
澤野 みすず

地域課題の抽出や市町村との関係構築を行い、会員の皆様が介護保険制度の要として働きやすい環境づくりができるように頑張ります。



日向・東臼杵ブロック
黒田 文代

介護保険制度の理念である利用者の自立支援に資するケアマネジメントの実践に向けて行政・医療・介護・地域が一体とされる仕組みづくりを目指します。



宮崎・東諸県ブロック
今別府 大作

宮崎・東諸県ブロックで活動される介護支援専門員の皆様の資質の向上、行政との連携強化が図れるよう活動して参ります。よろしくお願い致します。



西都・児湯ブロック
緒方 清孝

介護支援専門員の方々が抱える悩みや課題を少しでも解決に導いていけるよう役員の皆様と協力し頑張りますので、よろしくお願い致します。



日南・串間ブロック
豊島 正子

日南・串間のブロック理事として地域の状況を県協会へ、また県協会の活動を地域へ伝えていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



都城・北諸県ブロック
常盤 由希子

今期よりブロック理事を務めさせていただきます。ブロック理事としての活動を通じ地域支部の発展につながるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



小林・えびの・西郷ブロック
清水 つゆ子

介護支援専門員の皆様が、身近な所で研修に参加できるような環境を作っていきます。介護支援専門員同士のつながりや多職種と連携が図れるようにします。



事務局長
岡崎 浩司

これまで以上に、専門性高く能動的に、社会貢献する会員お一人おひとりを、側面からではありますが全力で支援致します。よろしくお願い致します。



中島紫織監事

皆様の会費や委託事業に対する補助金など当会は決して少なくない予算が毎年組まれています。適正に運用されるよう努めて参ります。



野津原裕監事

会員数の増大に伴い、地域や所属の特性などに偏らない研修機会や活動実施の為には資金と適正運営が必要となります。本協会が地域住民や会員の為にも多大な貢献ができるよう厳正な監査を行います。



嶋田喜代子顧問

介護保険制度の要としての役割を担う介護支援専門員は、本人・家族に寄り添い、関係機関との連絡調整等に日々忙しいので、顧問の立場で話を傾聴しながら、安心して仕事ができる環境づくりに努めて参ります。

県協会主催研修会報告

介護保険改正講座 ☆平成30年3月18日（日） シーガイアコンベンションセンター☆

テーマ 『介護支援専門員のための介護保険改正講座』

講師 東洋大学ライフデザイン学部 准教授 高野龍昭 氏

平成30年度の介護保険改正を間近に控えた講座でしたので、会場は満員で参加された会員の皆さまも、いつも増して真剣に高野先生の講座を聞かれておられました。

高野先生は、介護支援専門員は次期（3年後）改正を視野に入れた動きが必要であることを強くお話いただきました。



災害対策研修会 ☆平成30年3月21日（水） JA・AZMホール☆

テーマ 『介護支援専門員災害対策机上訓練』

講師 宮崎県介護支援専門員協会 災害対策委員会

平成29年度に県協会に新たに設けられました、災害対策委員会の第1回研修会が開催されました。研修会では、参加者が宮崎県二次医療圏域に分かれての机上訓練などが行われました。

今年に入り、全国各地で地震が相次いでいます。宮崎県も例外ではありません。会員の皆さまはどのような対策をとっておられますか？まずは自分の身の安全を確保できるよう、事業所内で今一度、話し合う時間があるといいですね。



宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

平成30年7月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク	正会員	準会員
宮崎・東諸県	675	15
小林・えびの・西諸県	119	0
西都・児湯	114	0
日南・串間	150	1
都城・北諸県	228	3
日向・東臼杵	150	0
延岡・西臼杵	177	0
鹿児島県	5	0
合計	1,618	19

会員数も1,618名となり介護保険制度を担う職能団体として多方面から大きな期待が寄せられています。今後さらなる発展をしていくためには、一人でも多くの方が当協会に入会し活動に参加されることが大事だと考えます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

編集後記

4月に改正が行われ、はや3ヶ月が経過しました。皆さまの事業所におかれましては、落ち着かれましたでしょうか？

先日、国では第17回の未来投資型会議が開催され、次世代ヘルスケアシステムを構築するための具体的施策として、介護分野においては居宅介護支援事業所とサービス提供事業所間における情報連携の標準仕様を検討し、平成30年度中に結論を得るとしてあります。

皆さまはこのような情報をどこから得られていますか？私は、JCMAメルマガから情報を得ることが多くあります。登録がまだお済みでなければぜひ登録してみてください。

登録に関して詳細な情報をお知りになりたい会員の方は、当協会事務局へお尋ねいただきますよう、よろしくお願い致します。（K・S）